

インフォメーション・コーナー

会 告

○研究部会長の交代	98
○新刊 土地改良事業計画設計基準及び運用・解説 計画「農道」、設計「頭首工」、設計「農道」の発刊	98
○2025年度（第74回）農業農村工学会大会講演会の開催（第1報）  2025年9月2～5日開催	99
○お願い!! 持続可能な農業農村工学のための学術基金へのご寄付	99
○CPD 認定基準の一部改正（2024年度から）—「その他の自己学習（x）」の上限値等の見直し—	99
○CPD 通信教育の問題と解答をホームページに掲載	100
○学会誌掲載報文等による CPD 通信教育の参加者募集!!	100
○「水土の知（農業農村工学会誌）」への投稿お待ちしております!	100
○改訂6版 農業農村工学標準用語事典 PDF 版および Web 版の閲覧申込み案内	102
○国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」への投稿のお願いと 2024年7月から2026年6月までの編集体制と編集事務局	102
○第61回材料施工研究部会シンポジウムの開催（第2報）  参加申込締切 2025年2月14日	103
○令和6年度田園自然再生活動の集いの開催  12月11日開催	104
○第16回岩の力学国内シンポジウムの開催 2025年1月14～16日開催	104
農業農村工学会論文集 内容紹介	105
農業農村工学会技術者継続教育機構認定プログラム（一般参加可）一覧 	106
学会記事	108

会員のみなさまへ

1. 本年度会費が未納の方は、早急にお振込みください。
みずほ銀行 新橋支店 普通 1167243
(社)農業農村工学会
※必ずご本人様名義でお願いいたします。
2. E-mail アドレスが未登録の方は、suido@jsidre.or.jp までご連絡ください。
みなさまへのご連絡には、主に E-mail を使用いたします。

第93巻第1号予定

展望：農業農村工学分野における AI の可能性：井上一哉

小特集：農業農村工学分野における AI の活用

報文：ハイブリッド AI による農道橋床版部の損傷検出の高精度化：田中 熙ほか

報文：深層学習によるダム表面温度の推定と損傷検出精度の改善：鈴木哲也ほか

報文：コンクリート画像を用いた深層学習による表面粗さの予測：木村優世ほか

報文：水稻作付け状況解析における生成 AI 利用の有効性：藤原洋一ほか

報文：パイプラインの機能診断における AI 技術の活用：和田夏樹ほか

報文：低平地における排水機場遊水池の AI 水位予測手法の開発と発展：木村延明ほか

技術リポート

北海道支部：農業農村整備事業における 3 次元データを活用した設計事例：大野充雅ほか

東北支部：福島特別直轄災害復旧事業請戸川地区の成果と課題：重原昭彦ほか

関東支部：無機吸水系の土質改良材によるため池改修：西田 稔ほか

京都支部：手取川七ヶ用水の防火用水への活用に向けた取組み：中村英輔ほか

中国四国支部：農業用パイプライン内の貝類による通水阻害への対策事例：川上 潤ほか

九州沖縄支部：離島等の特殊環境下における擁壁工法の選定：大前壽人

農業農村工学会行事の計画

農業農村工学会行事について、下表のように計画しています。ふるって参加くださるよう、お待ちしております。

㊦のマークは、技術者継続教育機構の認定プログラムとして認定されたもの、および認定申請中のものを表しています。なお、新型コロナウイルス感染症防止対策等により、ライブ配信での口頭発表が行われない場合は、認定プログラムの対象にならないこととございます。詳しくは主催先の各支部または各研究部会にお問い合わせください。

開催日	主催	行事名		テーマ	開催場所	掲載号
2024年12月 13日	関東支部	第75回支部大会講演会・ 地方講習会・情報交換会	㊦	—	さいたま市	92巻9, 10, 11号
2025年1月 24日	農業農村整備政策研究 部会	令和6年度研究会	㊦	—	文京区	92巻11号
2025年3月 7日	材料施工研究部会	第61回シンポジウム	㊦	産学官連携の施工技術検討業務 による教育・研究と人材育成	佐賀市	92巻11, 12号
2025年9月 2～5日	大会運営委員会	2025年度（第74回） 農業農村工学会大会講演会	㊦	—	宇都宮市	92巻12号

研究部会長の交代

2024年4月1日付で下記研究部会長が交代しました。

記

資源循環研究部会

新部会長 凌 祥之

前部会長 山岡 賢

新刊 土地改良事業計画設計基準及び運用・解説 計画「農道」、設計「頭首工」、設計「農道」の発刊

令和6年3月に制定された、土地改良事業計画設計基準及び運用・解説 計画「農道」、設計「頭首工」、設計「農道」（農林水産省農村振興局編集）を令和6年10月に発刊いたしました。

購入希望の方は、下記要領にてお申し込みください。

1. 発行書籍

書籍名：土地改良事業計画設計基準及び運用・解説 計画「農道」基準、基準の運用、基準及び運用の解説、技術書

編集：農林水産省農村振興局

価格：1,760円（税込）、送料：1冊200円（最大600円）

規格：A4判 173ページ

発行日：令和6年10月10日

書籍名：土地改良事業計画設計基準及び運用・解説 設計「頭首工」基準、基準の運用、基準及び運用の解説、技術書

編集：農林水産省農村振興局

価格：4,510円（税込）、送料：1冊200円（最大600円）

規格：A4判 728ページ

発行日：令和6年10月7日

書籍名：土地改良事業計画設計基準及び運用・解説 設計「農道」基準、基準の運用、基準及び運用の解説、技術書

編集：農林水産省農村振興局

価格：2,970円（税込）、送料：1冊200円（最大600円）

規格：A4判 850ページ

発行日：令和6年10月7日

2. 申込み方法

I. 個人、法人の場合（賛助会員を除く）

① 郵便振替：郵便局の払込取扱票の通信欄に書籍名、冊数、送付先、担当者名、連絡先をご記入ください。

振替口座番号：00160-8-47993

加入者：公益社団法人 農業農村工学会

② 現金書留：書籍名、冊数、送付先、担当者名、連絡先を書いた注文書をご同封ください。

③ 代金引換：書籍名、冊数、送付先、担当者名、連絡先を記載した注文書に「代引希望」と書き添えてE-mailまたはFAXでお送りください。別途、送料の実費と代引手数料が必要です。

II. 官公庁の公費購入および賛助会員の場合

書籍名、冊数、送付先、担当者名、連絡先を書いた注文書をE-mailまたはFAXでお送りください。

3. 申込み先

〒105-0004 東京都港区新橋5-34-4

（公社）農業農村工学会事務局 図書係

TEL：03-3436-3418 FAX：03-3435-8494

E-mail：suido@jsidre.or.jp

2025 年度（第 74 回）農業農村工学会大会講演会の開催（第 1 報）

技術者継続教育機構認定プログラム申請中



2025 年度（第 74 回）農業農村工学会大会講演会は、宇都宮大学陽東キャンパスにおいて開催を予定しています。大会講演会への投稿、参加申込みは Web からになります。投稿要領、参加申込み方法など、詳細は第 93 巻第 2 号でお知らせいたします。

1. 開催期日 2025 年 9 月 2 日（火）～5 日（金）

講演会：2025 年 9 月 2 日（火）～4 日（木）

交流会：2025 年 9 月 2 日（火）

現地研修会：2025 年 9 月 5 日（金）

2. 会 場

開会式、学会賞授与式：ライトキューブ宇都宮

講演会：宇都宮大学陽東キャンパス

交流会：ホテルニューイタヤ

3. 運営委員長

宇都宮大学農学部 田村孝治

お願い!! 持続可能な農業農村工学のための学術基金へのご寄付

ポストコロナの社会的状況を踏まえ学会では 2024 年度の学生年会費を免除しています。また、大学改革の第二幕を迎えている現在、若手の研究者のみならず、教授を含めた大学教員の研究環境は悪化の一途を辿っており、研究費の削減から人材の育成も困難になっています。そのため、産官学の連携協力の強化を進めているところですが、その一環として、学会にある学術基金の拡充が喫緊の課題となっています。

この度、持続可能な農業農村工学教育のため「技術者育成のための調査・研究費」を学術基金から公募により必要な大学に支援する学術基金制度の拡充（⑦）を行いました。

使用目的を明確化していますので、ほかに使用することはなく、税制上の優遇措置もあります。新技術の開発と人材の確保・育成のため、会員各位からの多くのご支援をいただきたく、衷心よりお願い申し上げます。

学術基金の枠組みは、以下のとおりです。

(1) 学会の事業計画に沿った調査・研究（学会に一任）

（※特に記載がなければ（1）として扱います。）

(2) 条件を付した寄付

選定条件【 】

① ダム保全管理工学に関する調査・研究の推進

・気候変動、国土強靱化に対応した既存ダムの保全管理工学の体系化を推進

② 大規模コンクリート構造物の設計・施工に関する調査・研究の推進

・頭首工などコンクリートの大型構造物のプレキャスト化など効率的な施工による生産性の向上や工事期間の短縮

に資する技術開発

③ ①、②以外分野および学際的分野に関する調査・研究の推進

・上記①、②以外、たとえば ICT など新たに取り組んでほしい技術

④ 国際学術会議への出席等の国際交流の推進

⑤ 若手研究者の育成の推進

⑥ 顕著な功績のあった農業工学遺産の保護等の推進

・青山霊園にある上野英三郎博士の墓所管理

・世界かんがい遺産などの保護に資する調査・研究 など

⑦ 技術者育成のための調査・研究の推進

詳しくは学会ホームページ（https://www.jsidre.or.jp/gakujutsukikin_kifuno-onegai/）をご覧ください。

個人会員一口 5,000 円（何口でも可）

法人会員一口 50,000 円（何口でも可）

送金方法 銀行振込および郵便振替でお願いいたします。

銀行：みずほ銀行新橋支店

普通預金 No.1569058

口座名 （社）農業農村工学会学術基金

郵便振替：00140-2-54031

加入者名 農業農村工学会学術基金

公益法人である学会に法人が寄付すると法人税に対して税制優遇措置（一般損金算入限度額＋特別損金算入限度額）が受けられます。また個人が寄付する場合は、所得税等の寄付金控除が受けられます。

CPD 認定基準の一部改正（2024 年度から）

—「その他の自己学習（x）」の上限値等の見直し—

近年、品確法や建設業法の下で CPD が評価され、また日本技術士会では「技術士（CPD 認定）」の運用が始まるなど、CPD の活用が進んでいます。その一方で、コロナ禍の行動制限によって研修の形態が「集合対面型」より、インターネット

を介した「自己学習型」が増加し、参加証明が得難い研鑽機会も増大しています。

農業農村工学会技術者継続教育機構では、このような自己学習型の研修実績を正當に評価するため、2024 年 4 月より、業

務運営細則に定める「別表2 教育形態区分表」を一部改正し、自己学習【x】の分類の記号を【x1】と【x2】に区分するとともに、年間上限値を他の主要なCPD運営体と同等の合計

30 cpd（現在は20 cpd）となりました。

なお、自己学習型の記録申請には、これまでどおり証拠書類の提出は不要です。

【別表2】教育形態区分表の該当部分（下線部分を改正）

（改正後）

形態	分類Ⅰ	分類Ⅱ	記号	cpd 単位	上限値	証拠提出
⑤自己学習型	「水土の知」による自己学習	「水土の知」の購読	<u>x1</u>	0.5 H	10	－
	その他の自己学習	農業農村工学に関連する領域の図書・雑誌の読習、DVDの視聴、e-learningの受講、語学習得、展示会での情報収集等	<u>x2</u>	0.5 H	<u>20</u>	－

（改正前）

⑤自己学習型	「水土の知」による自己学習	「水土の知」の購読	x	0.5 H	10	－
	その他の自己学習	農業農村工学に関連する領域の図書・雑誌の読習、DVDの視聴、e-learningの受講、語学習得、展示会での情報収集等		0.5 H	<u>10</u>	－

CPD 通信教育の問題と解答をホームページに掲載

農業農村工学会技術者継続教育機構では、農業農村工学会員でもあるCPD個人登録者が在宅のままCPD単位が取得できることを目的に「CPD通信教育」を実施しています。

2021年9月より、技術者継続教育機構のホームページにそ

の時点で解答可能な「通信教育問題」と解答期限を過ぎた「解答」を掲載しています。学会誌がお手元に届くまでの間はホームページ上で通信教育問題をご確認くださいようお願いいたします。

学会誌掲載報文等によるCPD通信教育の参加者募集 !!

農業農村工学会では、学会員であり、かつ技術者継続教育機構のCPD個人登録者の方がCPD単位を在宅のまま取得できる方法として、平成17年10号から農業農村工学会誌「水土の知」誌上で「CPD通信教育」を実施しています。学会員であり、かつCPD個人登録者は、どなたでも無料で参加することができ、通信教育分【ac】として年間最大24 cpdを取得する大きなチャンスとなっています。この機会に、是非CPD通信教育へご参加ください。

なお、解答内容については技術者倫理に則り、自らの責任で送信してください。

1. 参加資格

農業農村工学会の個人会員であり、かつ技術者継続教育機構のCPD個人登録者

2. 出題内容と出題方法

3カ月前に発行された農業農村工学会誌に掲載された報文等の事実的内容から、択一式で毎月10問を出題

3. 解答方法

Web画面に正解と思う番号を入力し、送信（事前にWeb利用登録が必要）

4. 解答期限

問題掲載月の月から翌月末日まで

（例：学会誌12号掲載の問題は1月末日が解答期限）

5. 取得できるCPD単位

10問正解で2 cpdを、7～9問正解で1.5 cpdを自動登録

（正解数6問以下の場合はCPD単位の付与はされません）

6. 自動登録の時期

取得したCPD単位は、解答期限最終日の翌月初旬に自動登録されます。

「水土の知（農業農村工学会誌）」への投稿お待ちしております！

1. 学会誌小特集の要旨の募集とその報文原稿の執筆

学会誌は毎号テーマを設定した報文小特集を基本に、企画・編集を行っています。本小特集に投稿を希望される会員の皆様には、先に、下記に示す各号の趣旨に沿った報文要旨（A4判、1,500字程度、様式自由）を要旨締切り日までに提出していただきます。

その後、企画・編集委員会において提出された要旨の内容を

検討し、小特集報文を提出していただく連絡を要旨提出された方に行います。その報文原稿の締切り期日は、おおむね本文原稿提出連絡日の約1カ月後です。本文原稿の分量は、刷上り4ページとなっておりますので、ご執筆の際には厳守をお願いいたします。なお、小特集テーマが仮題となっているものは、予告なく変更することがあります。

学会誌第 93 巻の小特集のテーマ

小 特 集 テ ー マ	要 旨 締 切 (A4 判 1,500 字程度)
第 93 巻第 1 号 農業農村工学分野における AI の活用 (仮)	終了
2 号 なし (自主投稿号)	公募なし
3 号 令和 6 年能登半島地震の被害と課題 (仮)	公募なし
4 号 農村を安全に支えるには (仮)	終了
5 号 食料供給の安定化と環境保全に資する農業生産基盤の新たな展開 (仮)	終了
6 号 これからのストックマネジメントのあり方 (仮)	12 月 10 日
7 号 学会大会特集 (予定)	公募なし
8 号 農村の振興や農業の有する多面的機能維持への貢献 (仮)	2025 年 2 月 10 日

※第 9 号は再生可能エネルギー関連の小特集を検討しています。

今後取り上げてほしい小特集のテーマについても、広く募集しておりますので、学会誌企画・編集委員会あてにお寄せください。

送付先 (要旨および本文原稿など)

〒 105-0004 東京都港区新橋 5-34-4

(公社)農業農村工学会

農業農村工学会誌企画・編集委員会あて

TEL : 03-3436-3418 FAX : 03-3435-8494

E-mail : henshu@jsidre.or.jp

※提出は、E-mail の添付ファイルにてお願い申し上げます。

学会誌第 93 巻第 6 号テーマ「これからのストックマネジメントのあり方」(仮)

農業水利施設は戦後から高度経済成長期にかけて集中的に整備されてきたことから、老朽化が進行しており、中長期的な視点で機能保全を図っていくことが求められています。このような背景の中、2023 年に改訂された「農業水利施設の機能保全の手引き」では、構造機能を主体とした機能保全の考え方に、水利利用機能を含む「農業水利システム」の観点を加えるなどの見直しが行われています。また、当学会は(公社)土木学会と連携して「インフラ健康診断書 2024」を作成するなど、わが国の経済・社会活動を支えるインフラを健康な状態に保つための提言にも力をいれています。以上から、農業水利施設の適切な維持管理において、ストックマネジメントの課題を改めて共有することは重要です。

他方で、食料・農業・農村基本法が改正され、食料供給能力の維持を目的とした海外輸出の振興が明確に位置づけられました。関連して、生産基盤を維持するための人口減少下での農業インフラの保全管理に向けた法整備が検討されています。この保全管理においては、基幹施設の集約・再編、ライフサイクルコストの縮減、ICT 等の新技術の活用が推進されています。

本小特集では、現況のストックマネジメントの課題や新たな視点、補修・補強技術の実装と課題、地域資源や農村地域の特性を活かした保全管理の取組み、農業水利システムの構築における視点など、ハード・ソフト両面から施設管理の高度化や農業水利施設の機能保全に関する課題を整理し、今後の展開を見通せる報文を幅広く募集します。

学会誌第 93 巻第 8 号テーマ「農村の振興や農業の有する多面的機能維持への貢献」(仮)

人口減少や高齢化の進行に伴い、農村の維持が困難になりつつあります。このような背景の下、食料・農業・農村基本法が改正され、農村をめぐる情勢の変化が生じる状況においても地域社会が維持されるよう農村の振興を図ることの必要性が明記されました。これを受け、農山漁村政策の再構築を進める旨の総理発言があり、特に地域資源を活かした産業振興、人材の確保、農村への人の呼び込みなどが重要な課題と位置づけられています。

また、農業の有する多面的機能は、農村地域での日常的な生活や農業生産活動などによって維持されています。これを支える手段として多面的機能支払交付金の制度があり、農地の維持や資源保全の活動を支えています。人口減少や高齢化は、こ

の制度を活用した組織の活動にも影響を及ぼしています。農業生産面では、ICT の導入によるスマート農業が注目されていますが、多面的機能の視点からも、農地維持や資源保全、農村集落の活性化に対する農業農村工学の貢献が問われています。

本小特集では、地域資源を活かした産業振興、農福連携や農泊の推進、次代への承継を見据えた人材の確保など、中山間地域に限らずあらゆる地域を対象に、現場で取り組まれている農村振興に関する報文を募集します。また、多面的機能支払交付金制度の活用やスマート農業の導入による農地維持、資源保全、農村集落の活動活性化に関する取組みや事例など、農業の有する多面的機能の維持に農業農村工学が果たす役割や今後の展望についての報文も広く募集します。

2. 自主投稿原稿の募集

小特集以外の自主投稿報文およびその他の投稿区分の自主投

稿も歓迎いたします。投稿の際には、農業農村工学会ホームページ (<https://www.jsidre.or.jp/journal/>) に掲載の「農業農村工学会誌投稿要項」, 「『農業農村工学会誌』原稿執筆の手引き」を熟読の上、小特集と同じく農業農村工学会誌企画・編集委員

会あてに、ご投稿ください。

ご投稿に当たっては、投稿票・内容紹介・本文（テンプレート）の各ファイル（Word）を上記の学会ホームページからダウンロードし、原稿の作成にご使用ください。

改訂6版 農業農村工学標準用語事典 PDF版および Web 版の閲覧申込み案内

改訂6版 農業農村工学標準用語事典 PDF 版および Web 版の閲覧希望の皆様へ

改訂6版 農業農村工学標準用語事典は、2019年8月27日に発行し好評を得ていますが、下記に該当する冊子購入者の中で希望される方には、学会ホームページ上で閲覧サービスを行っています。該当する閲覧希望の方は、下記にしたがい閲覧の手続きをお願い申し上げます。

- (1) 本用語事典の学会 Web 上での開示については、①正会員でかつ個人で購入した方、および②学生会員での購入者（大学等での先生の紹介によるグループ購入者も含む）の中で希望される方へサービスを提供します。
- (2) 上記の条件を満たす方で閲覧を希望される方は、「改訂6版用語事典 Web 上閲覧希望」とメール件名に明記の上、

氏名、会員番号および購入年月を付記して（学生会員でグループ購入された方は、紹介の先生の氏名も含む）、下記 E-mail 宛にお申し込みください。

suido@jsidre.or.jp

- (3) 上記メールを受信および確認後、閲覧の手順およびパスワードを返信メールにてご連絡申し上げます。
- (4) 学会ホームページ上で閲覧が可能なものは、改訂6版 農業農村工学標準用語事典 PDF 版および Web 版が付記されたコンテンツになります。なお、Web 版とは、改訂5版から改訂6版の編集において、時代や科学技術の変化にともない改訂6版から削除した用語の中から現在においても参考になる用語を収録したものです。

国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」への投稿のお願いと 2024年7月から2026年6月までの編集体制と編集事務局

国際水田・水環境工学会（International Society of Paddy and Water Environment Engineering : PAWEES）では、機関誌として国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」（略称：PAWE）を発行しています。なお、Paddy and Water Environment 誌の略称は、これまで PWE としておりましたが、2022年11月の国際集会以降は PAWE に統一されることとなりました。

本ジャーナルは、モンスーンアジア諸国の水田農業工学に関わる研究論文、技術論文が多数掲載されていますので、研究者のみならず、各種事業に携わる技術者にとっても貴重な学術情報誌です。また、2023年のインパクトファクター（IF）は1.9であり、国際ジャーナル誌としての位置づけが確立しています。

水田農業における土地、水、施設および環境に関する科学と技術の発展への貢献を目的としており、掲載論文の分野は、次のように幅広い内容となっています。

- ① 灌漑（水配分管理、水収支、灌漑施設、栽培管理）
- ② 排水（排水管理、排水施設）
- ③ 土壌保全（土壌改良、土壌物理）
- ④ 水資源保全（水源開発、水文）
- ⑤ 水田の多面的機能（洪水調節、地下水涵養など）
- ⑥ 生態系の保全（水生、陸生動植物の生態系）
- ⑦ 水利施設と減災・防災（施設管理、地すべり、気候変動、災害防止など）
- ⑧ 地域計画（農村計画、土地利用計画など）

⑨ バイオ環境システム（水田農業と水環境、土壌環境、気象環境）

⑩ 水田の多目的利用（田畑輪換、施設園芸）

⑪ 農業政策（農村振興、条件不利地の支援策など）

また、世界12カ国から Editor（22名）を選出することにより、国際ジャーナルとしての質を高める編集体制とし、さらに国際的な流通を考慮して、国際出版社として著名な Springer 社からの刊行です。掲載論文は、Review, Article, Technical Report および Short Communication の4種類です。

2024年7月から、新たな編集体制をスタートさせました。詳細は以下のとおりです。

編集体制

・Editor-in-Chief

Dr. Toshiaki IIDA

Faculty of Agriculture, Iwate University, Japan

・Associate Editors-in-Chief

Dr. Seong-Joon KIM

Konkuk University, Korea

Dr. Yu-Pin LIN

National Taiwan University, Taiwan

・Editors 12カ国から22名

・Editorial Advisors 27名

・Chief Managing Editor

Dr. Tasuku KATO

Institute of Agriculture, Tokyo University of Agriculture and Technology, Japan

・ Managing Editors

Dr. Eunmi HONG

School of Natural Resources and Environmental Science, Kangwon National University, Korea

Dr. Taeil JANG

Department of Rural Construction Engineering, Chonbuk National University, Korea

Dr. Kuo-Wei LIAO

Department of Bioenvironmental Systems Engineering, National Taiwan University, Taiwan

Dr. Katsuyuki SHIMIZU

Faculty of Agriculture, Tottori University, Japan

Dr. Naoko OKA

Rural Development Division, Japan International Research Center for Agricultural Sciences (JIRCAS), Japan

編集事務局 (2026 年 6 月まで日本担当)

Dr. Tasuku KATO

Institute of Agriculture, Tokyo University of Agriculture and Technology, Japan

TEL : +81-42-367-5757

E-mail : taskkato@go.tuat.ac.jp

投稿先 : オンライン投稿 (<https://link.springer.com/journal/10333>) になります。

投稿資格 : 筆者が農業農村工学会員で PAWE 誌の購読者であること。

投稿要領等 : <https://link.springer.com/journal/10333/submission-guidelines> に詳細を記載しています。

発行スケジュール : 年 4 回 (オンラインジャーナル)

購読料 : 正会員・名誉会員 9,900 円 (税込)

学生会員 (院生含む) 4,950 円 (税込)

非会員の方は購読できません。購読を希望される方は、まず農業農村工学会にご入会の上、お申し込みください。

なお、オンラインジャーナルへの完全移行に伴い、2016 年度からの購読はパスワードによる Web 上での閲覧になっています。冊子体の配布はありません。

申込先 : 農業農村工学会事務局 (suido@jsidre.or.jp) まで会員番号を明記の上、お申し込みください。

第 61 回材料施工研究部会シンポジウムの開催 (第 2 報)

技術者継続教育機構認定プログラム申請中



1. 主 催 農業農村工学会材料施工研究部会
2. テー マ 産学官連携の施工技術検討業務による教育・研究と人材育成
3. 期 日 令和 7 年 3 月 7 日 (金)
4. 会 場 佐賀大学農学部大講義室
〒 840-8502 佐賀県佐賀市本庄町 1
5. シンポジウムプログラム
司会進行 : 九州大学大学院農学研究院 金山素平
13 : 00~13 : 05 開会挨拶 佐賀大学農学部 近藤文義
13 : 05~13 : 20 材料施工研究部会研究奨励賞授与式
令和 6 年度部会賞選考経過報告
＜基調講演＞
13 : 25~14 : 15
竹繊維を利用した法面緑化基盤材について
九州大学名誉教授 大坪政美
14 : 15~14 : 30 (休憩)
＜一般講演＞
14 : 30~15 : 10
(1) 国営筑後川下流右岸農地防災事業の概要紹介
九州農政局筑後川下流右岸農地防災事業所 一寶浩司
15 : 15~15 : 55
(2) 施工技術検討業務における技術的課題への取組紹介
(株)技術開発コンサルタント 黒谷 透
15 : 55~16 : 10 (休憩)

- 16 : 10~16 : 50
(3) 産学官連携による教育・研究と人材育成の成果紹介
佐賀大学農学部 阿南光政
- 16 : 55~17 : 00 閉会挨拶 宮崎大学農学部 中園健文
6. 参加費
シンポジウム : 4,000 円
(参加費 : 1,500 円, 「材料と施工」第 62 号 : 2,500 円)
7. 申込み
以下の項目をご記入の上、E-mail にてお申し込みください。
その際、タイトル欄には「材料施工研究部会シンポジウムへの参加申込」と明記してください。
①参加者氏名 ②所属機関名 ③所属機関等住所 ④
TEL, E-mail アドレス ⑤テキスト代の振込日 ⑥CPD 番号
(登録希望の方)
8. 振込先
振込口座 : 宮崎銀行 木花支店 普通 239977
振込口座名義 : 農業農村工学会材料施工研究部会
事務局長 中園健文
※振込手数料は参加者にてご負担いただきますよう、よろしく
お願いいたします。
9. 申込み締切 令和 7 年 2 月 14 日 (金)
10. 申込み・問合せ先
〒 889-2192 宮崎県宮崎市学園木花台西 1-1
宮崎大学農学部

申込受付担当：中園健文
TEL：0985-58-7240

E-mail：nakazono@cc.miyazaki-u.ac.jp

令和6年度田園自然再生活動の集いの開催

技術者継続教育機構認定プログラム申請中



- | | |
|---|---|
| <p>1. 主催 (一社)地域環境資源センター
田園自然再生活動協議会
後援 農業農村工学会ほか</p> <p>2. 日時 2024年12月11日(水) 13:00~16:45</p> <p>3. 場所
国立科学博物館 日本館「講堂」(対面・Web配信併用)
〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20 上野公園内</p> <p>4. テーマ 田園自然再生活動の集いー自然と生きるー</p> <p>5. 問合せ先</p> | <p>(一社)地域環境資源センター田園自然再生活動事務局
〒105-0004 東京都港区新橋5-34-4 農業土木会館6階
TEL：03-5425-2461 FAX：03-3432-0743
E-mail：denen-saisei@jarus.or.jp</p> <p>6. その他
詳しくは、令和6年度田園自然再生活動の集いのホームページ (https://www.jarus.or.jp/HP2024/jrs4231.php) をご覧ください。</p> |
|---|---|

第16回岩の力学国内シンポジウムの開催

- | | |
|---|---|
| <p>1. 主催 (一社)岩の力学連合会
協賛 農業農村工学会ほか</p> <p>2. 開催地 熊本城ホール
〒860-0805 熊本県熊本市中央区桜町3-40</p> <p>3. 会期 2025年1月14日(火)~16日(木)</p> <p>4. 問合せ先</p> | <p>岩の力学国内シンポジウム事務局
E-mail：jsrm_sympo_2025@rocknet-japan.org</p> <p>5. その他
詳しくは、第16回岩の力学国内シンポジウムのホームページ (https://rocknet-japan.org/jsrm2025/) をご覧ください。</p> |
|---|---|

オンラインジャーナル 農業農村工学会論文集

農業農村工学会論文集は、より投稿しやすい環境と早期公開を実現するため、平成27年4月よりJ-STAGEを利用したオンラインジャーナルになりました。

J-STAGE上に公開されることで被引用環境も整っています。

進化した農業農村工学会論文集に皆様のご投稿をお待ちしております。

→電子投稿・査読システムの導入により、平均4カ月で審査終了！

→審査終了後、順次J-STAGEに掲載！

→論文集購読者は、オンライン登載直後より閲覧可能、

冊子体も配布、掲載料も低価格！

→投稿資格を緩和、非会員も条件により投稿可能に！